

平成 28 年度 情報通信月間推進協議会会長表彰

○ 志田林三郎賞

個人：1 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
あだち ふみゆき 安達 文幸 東北大学 電気通信研究機構 特任教授	災害に強い重層的通信ネットワークを実現するための研究開発に研究代表者として取り組んだほか、多年にわたり無線通信技術の研究開発に取り組み、W-CDMA 方式の研究開発において世界の先導に立つとともに、第5世代移動通信システムを推進するなど情報通信技術の発展に多大な貢献をした。

○ 情報通信功績賞

1 個人：1 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
うちなが こ 内永 ゆか子 特定非営利活動法人 ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ ネットワーク 理事長	情報通信審議会情報通信政策部会 I o T 政策委員会における専門委員や総務大臣主宰の会合の構成員などを歴任するとともに、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部員として I T 国家創造宣言の改定に寄与するなど、多年にわたり情報通信政策に関する我が国が目指すべき方向性の検討やその推進に多大な貢献をした。

2 団体：4 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
一般社団法人 I C T まちづくり共通プラットフォーム 推進機構 (代表理事：五味 典雄)	群馬県前橋市における I C T 街づくり推進事業の実証成果を引き継ぎ、マイナンバーカードを活用した母子健康情報提供サービスの実現や他の地域への展開を進めるなど、I C T 街づくりの普及展開に多大な貢献をした。
塩尻市 (市長：小口 利幸)	センサーネットワークを活用した鳥獣被害対策や減災情報提供、子どもの見守りなど、地域における効果的な I C T 利活用の先進事例を構築するとともに、その普及展開に多大な貢献をした。
真庭市 (市長：太田 昇)	クラウドシステムを活用することにより、森林の土地所有者情報や樹木の分布情報などを市役所と森林組合との間で共有する仕組みを構築し、大幅な業務効率化を実現するとともに、その普及展開に多大な貢献をした。

<p>宮城県漁業協同組合</p> <p>(経営管理委員会 会長：丹野 <small>たんの</small> <small>かずお</small> 一雄)</p>	<p>東日本大震災で被災した漁業用海岸局の復旧に際し、統合海岸局（※）をいち早く整備し、基幹産業である水産業の早期復興に尽力するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p> <p>※従来の漁業用海岸局を集約し、通信エリアを広域化したもの</p>
--	--